

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
南部杯	2018/10/8	JpnI	盛岡	1600m	ミドルペース	良	展開、コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ノンコノユメ	セ6	57	内田	トワイニング	ミスプロ系	アグネスタキオン	サンデー系	B	C	C	C	C	C		
2	2	ミッキーヘネシー	牡9	57	畑中	ハーツクライ	サンデー系	Hennessy	ノーザン系	D	B	D	D	D	D		
3	3	メイショウウタゲ	牡7	57	酒井	プリサイスエンド	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	C	C	C	C	C	C		
	4	ベストウォーリア	牡8	57	北村友	Majestic Warrior	ナスルーラ系	Mr. Greeley	ミスプロ系	C	B	A	B	B	B	▲	
4	5	アリッサム	牝5	55	阿部	グラスワンダー	ロベルト系	スペシャルウィーク	サンデー系	D	C	C	D	D	D		
	6	ヒドゥンブレイド	牡8	57	坂口	シンボリクリスエス	ロベルト系	Storm Cat	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
5	7	ゴールドドリーム	牡5	57	ルメール	ゴールドアリュール	サンデー系	フレンチデビュティ	ノーザン系	A	A	B	B	A	B	○	
	8	ケルヴィンサイド	牡7	57	菅原俊	コマンス	ノーザン系	Kingmambo	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
6	9	ノボバカラ	牡6	57	吉原	アドマイヤオーラ	サンデー系	フレンチデビュティ	ノーザン系	C	A	B	A	B	B	△2	
	10	プリンスダム	牡7	57	菅原辰	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
7	11	ロジストーム	牡5	57	村上	Unbridled's Song	ミスプロ系	Storm Cat	ノーザン系	D	B	C	C	C	C		
	12	ルヴァンスレーヴ	牡3	55	Mデムーロ	シンボリクリスエス	ロベルト系	ネオユニヴァース	サンデー系	A	A	B	B	A	B	◎	
8	13	コスタアレグレ	牡8	57	倉兼	シニスターミニスター	ナスルーラ系	Miswaki	ミスプロ系	D	B	D	C	D	D		
	14	オールブラッシュ	牡6	57	田辺	ウォーエンブレム	ミスプロ系	Crafty Prospector	ミスプロ系	C	A	B	A	B	B	△1	

隊列図	見解	ラップタイム
オール ベスト ノボバ アリッ ゴール ロジス メイシ ヒドゥ コスタ ノンコ ケルヴ ルヴァ ミッキ プリン	<p>国内で行われる古馬のダートマイルG 1は3つ。フェブラリーステークス、かしわ記念、南部杯。この3つのレースの勝ち時計を比較すれば、南部杯の特徴が色濃く浮かび上がってくる。一般的に「地方ダート=時計がかかる」のイメージがあるかもしれないが、南部杯は国内のマイルG 1で最も時計の速い決着になるレース。特に近年の盛岡ダートは時計が一段と速くなっており、ダートグレードが行われているコースの記録を見ると、</p> <p>盛岡ダート1200m、1600mは16年以降に更新されたもの。(中略)時計が出れば出るほど逃げ、先行有利になるわけではないが、今の盛岡は逃げ、先行勢が圧倒的に優位。事実、昨年の南部杯は同年のフェブラリーステークスで14着と大敗したコパノリッキーが上り34.6秒でまとめ、後続は何もできなかった。今年の南部杯は、ルヴァンスレーヴ、ゴールドドリーム、ノンコノユメの3頭が人気を集めそうだが、3頭ともに差し、追い込みタイプ。この3頭で決まる確率は極めて低いのではないかと。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はルヴァンスレーヴが連勝をさらに伸ばす。(以下省略)</p>	回顧           次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ノンコノユメ		ワンターンの左回り自体は合っているが、フェブラリーステークスでもギリギリ差し切ったくらいで盛岡ではエンジンがかかる前にゴールがくるはず。1枠1番で自在に動けないのもマイナスだ。		
2	2	ミッキーヘネシー		ダートグレードを中心に使われているが、出走賞金目当ての印象が強い。終い勝負で目指すは地方馬最先着か。		
3	3	メイショウウタゲ		内枠巧者でやや不気味ではあるが、前が止まらない盛岡で上位争いするのは難しいだろう。人気が全くないなら押さえてもいいが、前走で勝利してしまったのでそれなりに売れるか。		
	4	ベストウォーリア	▲	南部杯は5年連続の出走で、過去4回は14年1着、15年1着、16年2着、17年6着という成績。昨年に初めて崩れたが、2着ノボバカラとは0.4秒差で着順ほど負けているわけではなかった。ピークを過ぎたのは明らかだが、ルヴァンスレーヴ、ゴールドドリーム以外とは差がないはず。		
4	5	アリッサム		前走ビューチフルドリームカップではジュエルクイーン、ステップオブダンスに完敗。ダートグレードで通用するレベルではない。		
	6	ヒドウンブレイド		J R A 1000万下で壁にぶつかり、岩手に移籍。近走は地元馬相手でも勝ち切れておらず、苦戦必至。		
5	7	ゴールドドリーム	○	昨年のかしわ記念はスタートで致命的な出遅れがあったことが最大の敗因。今年も昨年並みの出遅れがないとはいえないが、鞍上はソツなく乗ってくれそうなルメール騎手。ここに来て以前よりも融通が利くようになっており、それが成績の安定にもつながっているだろう。		
	8	ケルヴィンサイド		南関東のB 2で掲示板止まりだった馬。前走仲秋特別で久しぶりの勝利を挙げるもダートグレードでは出走馬のレベルが違う。		
6	9	ノボバカラ	△2	昨年の南部杯2着は正直、上手く行き過ぎた感があったものの、今年も展開と馬場には恵まれそう。上位2頭は手強いが、流れひとつで今年も見せ場以上があってもいいだろう。		
	10	プリンスダム		前走東京カップけやき賞ではJ R A 1000万下在籍のエイシンミノアカ、ルーレットクイーンらに完敗。ダートグレードでは相手が強過ぎる。		
7	11	ロジストーム		大崩れなく走っているが、4走前の赤松杯ではベンテンコソウに全く歯が立たず。ダートグレードで通用するレベルではない。		
	12	ルヴァンスレーヴ	◎	出遅れ率100%なので不安がないわけではないが、枠順の並びはどう考えても絶好といえそう。ユニコーンステークスのレースぶりを見ても、鞍上のM・デムーロ騎手は3コーナーまでに位置を押し上げるはずで、序盤の位置取りは悪くなくても4コーナーでは先頭を射程圏に入れているだろう。		
8	13	コスタアグレ		J R A 1600万下に在籍経験があり、地方馬同士なら能力上位も、J R Aの一級線相手では荷が重すぎる。		
	14	オールブラッシュ	△1	同型ノボバカラとの兼ね合いがカギも、2頭とも控えても競馬はできるので、競い合うことはないだろう。逃げるにせよ番手に控えるにせよ被されない外枠を引けたのは大きな魅力。相手は手強いが、展開ひとつで馬券圏内ならチャンスはある。		